

試作品について

■ 箆筒型キャリーバック

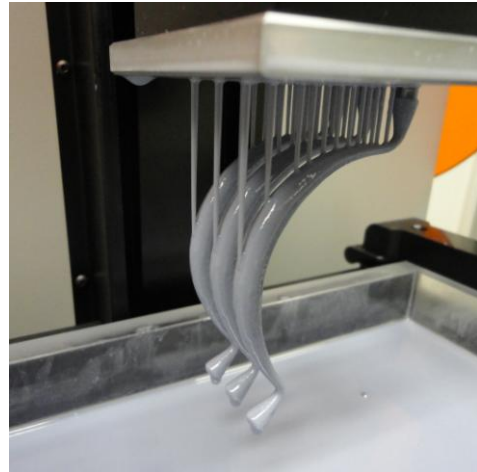
ファニチャーホリックでは、着物等の和装時に持ち運ぶファッション性の高い「越前箆筒」をモチーフにした「箆筒型キャリーバック」の開発に数年前から取り組んでいました。しかし、飛行機や列車等での使用時には強化プラスチック製の市販品に比べ高重量のため、荷台への持ち上げが困難であり軽量化に取り組む課題がありました。木製部材については軽い桐材を使用することで解決しましたが、金具については職人減少により必要な大きさやデザインの金具入手が困難でした。そこで、古い引手金具をスキャニングして3Dデータ化することで、樋目等のデザインはそのままに必要な大きさに変換し、3Dプリンタによって出力したアクリル樹脂の金具を使用することで前試作品よりも総重量3/5の軽量化に成功しました。

■ 手元箆筒

花嫁道具の主流であった大型桐箆筒の需要減少、ウォークインクローゼット等が主流の新築家屋といった生活様式の変化に対応する試作品で、和・洋室どちらにもマッチする新しい現代和風デザインの越前箆筒です。この試作品には、工業技術センターが持っているレーザ照射による金属への彫刻技術を改良することで、レーザ照射部分を隆起させる、今までにない隅金具等が使用されています。



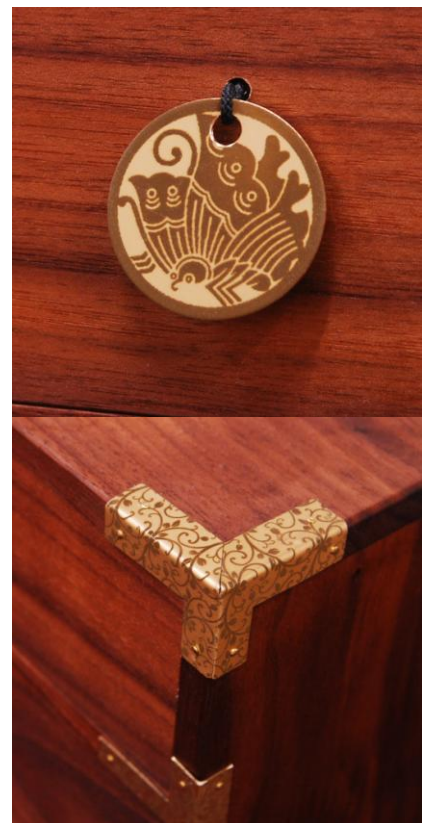
改良開発した「箆筒型キャリーバッグ」



3Dプリンタによるアクリル樹脂での出力



試作開発した「手元箆筒」



レーザ加工で装飾した金具